



広報



市の木・もくせい

FUSSA



平成 25 年 (2013 年)

4 月 1 日 No.876

発行 / 福生市 編集 / 企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町 5

☎ 042-551-1511 (市役所代表)

毎月 1 日・15 日発行

▼福生市 4 月の主なイベント▼

5日(金) ~14日(日)	第30回ふっさ桜まつり
21日(日)	ロングロングウォーキング20キロ
27日(土)	福生市PRイベントin西武ドーム

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事 3面市民契約保養施設 4面福生市地域防災計画(素案)に対するご意見募集 5面市民農園利用者募集 6面みどりのカーテン大作戦 7面聴いてみませんか? 協働のまちづくり市政出前講座 8面電線共同溝設置工事 9面狂犬病予防注射 11面国体NaVi

平成 25 年度施政方針

平成 25 年度予算案などを審議する第 1 回福生市議会定例会において、加藤市長が施政方針を述べましたので、お知らせします。なお、文章は紙面に合わせ編集をしています。全文は市ホームページに掲載しています。

【問合せ】企画調整課企画調整担当 ☎ 551・1528

〈施政方針要旨〉

～はじめに～



昨年 5 月の市長選挙において、市民の皆さんからの信任により、2 期目の市政運営に当たることとなってから、9 か月となります。この間、皆さんからの多大なるご指導、ご協力をいただいたことに改めてお礼を申し上げます。

今後も刻々と変わる社会情勢に注視をしながら、市のため、市民のために、最善を尽くすことが私に課せられた使命です。市長 2 期目の市政運営を進めていくにあたり、市長 1 期目の評価や今後への期待を重く受け止め、第 4 期総合計画に掲げる目指すべきまちの都市像「このまちが好き 夢かなうまち 福生」の実現に向け、全力で市政運営に取り組んでいきます。

また、長年、市の行政及び教育行政に尽力された坂本昭前副市長、宮城眞一前教育長の両氏が退任し、2012 年 7 月からは村山副市長を、そして 2013 年 1 月から川越教育長を任命しました。この新体制による執行機関をよろしくお願いします。

〈市の重要な課題に対する考え〉

①人口減少への対応と定住化対策について

福生市は他市よりも早く人口減少の傾向が表れ、平成 14 年をピークに減少に転じています。そこで、人口減少対策や定住化対策の調査・研究とともに、交流人口増加策と兼ねて、まちの魅力の発信、及び活性化施策を進めてきました。新年度からは、定住化対策のうち、企画立案や調査研究の所管を企画財政部に移し、今までの成果をもとに、更に推進します。

今後も人口推移の動向を注視しながら、施策の充実を図り、人口減少に歯止めをかけるとともに、有効的な施策を展開するため、さらに研究を進め、人口減少と定住化対策に取り組めます。

②災害に強い安全安心なまちづくりについて

東日本大震災から 2 年が経過しようとしています。現在も、31 万人を超える方々が、避難所や仮設住宅で不自由な生活をされ、或いは親族や知人を頼り、住み慣れた土地を離れて生活をされています。被災者の皆さんには心からお見舞いを申し上げます。早く元の生活に戻れることを願っています。

東日本大震災以降、災害に強いまちづくりに対する期待は大きい

ものがあります。今年度実施した市政世論調査において、特に力を入れてほしい施策の第 1 位は「地震などの防災対策」で、30.8%、平成 21 年度の調査結果と比較しますと 13.1 ポイントの増でした。この数値を見ても、災害対策をさらに充実させる必要があります。現在、福生市地域防災計画の修正作業を進めています。東京都地域防災計画及び多摩直下地震や立川断層帯地震等による被害想定等を踏まえ、現実に即した実効性のあるものに改定します。

これに関連して、新学校給食センターの建設について報告します。市では、横田基地南側にある福東地域の一部を、大規模地震発生時の防災拠点と位置づけ、当該地域内に所在する公園、野球場を防災ヘリポートなどの活動拠点のほか、当該地域内に災害時対応施設の整備を考えています。この災害時対応施設には、避難所、災害備蓄倉庫、災害時炊き出し施設などの総合的な機能を併せ持つ防災施設を含み、平時は、学校給食センターとして利用する考えています。その建設候補地として、防衛省所管の行政財産の活用を考えており、現在、防衛省にお願いしています。

③行政改革の推進について

今後とも分権型社会に対応した、自立した自治体を目指します。行財政面では、引き続き歳入の確保に取り組み、市民サービスの維持、向上に努めながら、健全な財政運営を行い、今後想定される新たな歳出負担や経費の増加などに備え、自らも財源確保に取り組むなど、名実ともに自立した基礎自治体経営を目指します。そのためにも、さらなる行政改革を推進するとともに、既存事業の見直しを行いつつ、市民生活に直結する重要な事業などには、積極的、かつ効果的に財源を投入するなど、選択と集中の理念を持って進めます。

一方、市職員には、分権型社会における地方自治の担い手としての意識改革と、政策立案能力の向上に努める必要があることから、職員の能力向上を図ります。

④横田基地の問題について

2012 年 3 月、航空自衛隊航空総隊司令部及び関連部隊が、府中基地から移転し、航空自衛隊横田基地の運用が開始されました。

これに伴い、福生市に数多くの隊員及び家族の方が住民登録をしています。新たに市民になられた自衛隊員の方々には、市の良さを発見してもらい、今後も住み続けていただきたいと思ひます。

基地交付金について申し上げますと、この度新た

に建設された自衛隊施設は、法律上、基地交付金の対象資産になっていません。

しかし、この度の自衛隊の移転は、米軍再編の一環として行われたものであるため、米軍が使用する施設と同様、自衛隊施設においても基地交付金の対象とするよう、総務省に要望しました。今後も日米共同運用の趣旨に鑑み、引き続き要望していきます。

また、横田基地の態様の変化を注視し、市民の安全・安心を守ることを最優先に考え、国に対しては主張すべきはしっかりと主張していきます。

⑤平成 25 年度予算について

予算編成は、市税等、自主財源が少ない状況ではありますが、将来の財政需要への対応を考慮した、長期的な視点に立って編成しました。

歳入では、市税等の収納強化に引き続き取り組むとともに、税外収入確保のための方策を検討し、歳出では、既存の事務事業について、社会情勢の変化や費用対効果を精査のうえ、廃止、事業方法の変更を検討しました。また、経常経費の削減に取り組むなど、可能な限り歳出抑制に努めました。

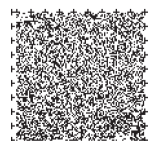
このように、歳入の確保、歳出の削減に努めるとともに、財政調整基金の取り崩しや、臨時財政対策債の借り入れを可能な限り圧縮しましたが、収支に不足が生じ、市民サービスを維持しつつ、効果的な事業を実施するため、臨時財政対策債 5 億円を借り入れて不足する財源を補てんし、収支の均衡を図ることにしました。

人口減少や経済活動が縮小する中で、いかにして財政の健全化を保つかがこれからの大きな課題です。今不足する財源に補てんする借金は最小限にとどめ、財政上の体力維持に努めます。

一般会計の新年度予算の規模は、前年度比で 3 億 4,700 万円、1.6%減の 217 億 3,000 万円です。

歳入は、市税収入が 1.1%、8,482 万 8 千円の増額としました。これは、市たばこ税の 6,000 万円の増と、航空自衛隊航空総隊司令部等の横田基地移転に伴い、隊員が転入したことによる市民税約 2,500 万円の増を見込んでいます。地方交付税は 3.6%、1 億 100 万円の減額、国庫支出金は、防衛施設周辺道路整備事業国庫補助金の減はありますが、生活保護費負担金等の増により、全体では 0.6%、2,498 万 9 千円の増額、都支出金では、選挙費委託金の増があるものの、すみれ保育園の建設が完了したことに伴う保育所緊急整備事業補助金などの減により、全体では 2.7%、8,751 万 2 千円の減額となっています。

⇒ 2 面に続きます



【SPコード】専用読取装置で、施政方針の概要を音声で聞くことができます。【問合せ】秘書広報課広報広聴係 ☎ 551・1529